

「千人の県本部めざして」 第19回県本部大会開催

一〇月十五日、組合会議室で第十九回栃木県本部定期大会を代議員など三十六人が参加して開催しました。

主催者あいさつで山内委員長は、配布されている各種署名を紹介し、「安保法制、消費税増税などいずれも安倍政権の強権政治に原因がある。今月二十二日の衆議院選挙は野党共闘をすすめて政治を変える絶好の機会。必ず選挙権を行使しよう」と訴えました。

石井書記長は運動方針で、「引き続き千人の県本部をめざしたい。そのためにより組合員の力が発揮できるよう組織再編を大胆に進めたい」とし、具体的に



を進めることを提案しました。討論では各組織の代議員が発言しました。

いずれも厳しい状況のなかでの奮闘が伝わる発言となりました。また、課題となっている執行部の世代交代の一環として、副委員長にダンブ支部とエアケ三運輸支部からあらたに選出されました。議案は満場一致で採択されました。

地元組合元結送大会

一〇月十五日、佐野市にある夢沼運輸で働くドライバーが組合を結成、翌十六日会社に結成通告団交申し入れを行いました。

同社は海上コンテナ、パラセメントなどの輸送をおこなうトラック事業者です。誰も就業規則をみたことがなく運行管理にも様々な問題が指摘されています。

運送会社を取り巻く環境は年々厳しくなっており、組合員らは安心して働ける職場をめざしています。



日祥運輸倉庫争議事件 九人の証人尋問終わる

運送会社日祥運輸倉庫(宇都宮市)で起きた組合員に対する不当解雇、賃金未払事件は、現在宇都宮地方裁判所で裁判が行われています。

九月から一〇月、三回にわたって組合員と会社関係者九人に対する証人尋問が行われました。

九月二〇日に行われた尋問では、組合の準備段階では積極的に参加していながら、組合結成前に突然離脱したドライバーが証人として出廷、離脱後組合員にたいして「お前のタマ(命)を取るといってドライバーもいるぞ」などと脅迫まがいの発言をしていたことも明らかにされました。

一〇月十二日には山岸社長に対する証人尋問も行われました。

山岸社長は組合弁護団の尋問に対して「建交労イコール共産党だ」と思っている「などと証言しました。この発言に、事件の本質が現れています。

線請 282号 県道 改善を要す

東名高速で交通トラブルにより停車中の車両にトラックが追突し、ご夫婦が子供の前で死亡するという痛ましい事故が発生しました。

交通トラブルは全国的に増え問題になっています。藤坂砕石葛生工場から峠を越えて岩舟町小野寺に抜ける県道282号線。狭く急カーブが多い傾斜道路のため、以前から危険道路と指摘されダンブと一般車両のトラブルも起きています。ここ数年トレーラーダンブの増加により一層危険な

状況になっています。

組合員の大澤昭一さんは「慣れているダンブ同士ならいいけど、突っ込んでくるドライバーがいて危ない」。県道沿いにある東成資材の郡土稔さんは「草や樹木で視界が悪いのが問題。もつと手前で対向車を発見できれば待機するなど対処できる」と語ります。

組合では道路を管理する県栃木土木事務所に改善を要請、現地調査を実施してもらったことになりました。

重大事故が起こる前に！



魔のヘアピンカーブ

県砕石組合50周年で 「安全・安心」めざす?

県砕石工業協同組合は九月二十九日、宇都宮市内で創立五〇周年記念式典を開き、青木理事(オーリス社長)は、高齢化、人手不足などの解決に取り組み「県民からは砕石だ」と自慢される業界を目標したい」とあいさつ。安全、安心、

安定を表したロゴも発表しました。ダンブの過積載によって成り立っている業界の現実「は過積載だ！」

県砕石組合は一〇月から人手不足などを理由に、生コン向け砕石の値上げに取り組み、東京都東部生コン協組で運賃含め六

をどう変えていくのか、具体策は何も示されていません。「栃木の日本一は過積載だ！」

ダンブには値下げの動き

百円以上の値上げに「おおむね理解が得られた」と報道されています(左)。

ところが一部組合員には値下げの話が・・・?

生コン骨材値上げへ 約10%、人手不足など対応

県砕石工業協同組合(青木理事)は、生コンクリート組合などに対し、生コンクリート製成品の砕石単価の引き上げ(出荷価格を1当たり100円以上の値上げを要請している。値上げに動くのは3年ぶり。人手不足や砕石の維持・開発費が増加し、2020年の東京五輪などで需要が高まる中、安定供給ができるようにする狙いもある。組合員の企業ごとに取引先と交渉するため、実際の値上げは年明けになりそうだ。伊藤)と、全国の約8.7%を占める。一方、常用産量数は10年前に比べ65%減少。生コン業界は、人手不足、高齢化が深刻化している。砕石工場の協同組合などに値上げを要請している。砕石工場の設備更新をはじめ、原石産出地への環境対策、場引き直し価格は組合員各石や砕石などの砕石1.55や開発手続の長期化に伴って異なるが、1.5当たり1千円前後。今回の値上げは約10%増になる。砕石会社が直接販売する場合、引き渡し価格に運賃を含めた納入価格に生コンの値上げを反映し、元の水準に戻っていない。青木理事は「具体的な値上げ交渉は各社の対応になるが、今取り組まないという手不足にたいしては、組合員が対応する方向」と説明している。

10月19日付
下野新聞